
エコアクション21

環境経営レポート2018



第16期

対象期間 2018年7月～2019年6月



エコアクション21
認証番号0008570

2019年 8月30日発行



株式会社テクノ月星



目 次

1. 組織の概要	4
2. 認証・登録の対象範囲と主要製品	4～5
3. 環境経営方針	6
4. 環境経営推進体制	7
5. 環境経営目標	8
6. 環境経営計画	9
7. 環境経営目標の実績	10～11
8. 環境経営計画の取組結果と評価	12～14
9. 来年度の環境経営の計画	15
10. 環境関連法規の確認及び評価、並びに違反、訴訟等の有無	16
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	17

当社所在地

福岡県うきは市の風景

美しい自然と伝統文化はうきは市の宝です。当社は緑豊かな田園地帯に所在しており、工場内には農業用水路もあります。周囲の環境へ配慮した操業にこれからも努めてまいります。



つづら棚田(日本の棚田百選)

吉井 白壁土蔵の街並み



筑後川温泉郷



筑後川の鶴飼い

名産フルーツ狩り(柿・ぶどう・なし・もも・いちご・ブルーベリーetc)



福岡県うきは市
当社所在地

1. 組織の概要

① 事業所名 代表者氏名	株式会社 テクノ月星 代表取締役 柿永 正利																
② 所在地	本社 〒839-1498 福岡県うきは市浮羽町高見215番地																
③ 環境管理責任者 担当者連絡先	取締役 総務部長 樋口 勝範 (TEL 0943-77-2141) 総務部 工務課長 田辺 智之 (TEL 0943-77-3020)																
④ 事業の概要 主要製品	工業用エラストマー製品の設計・開発及び製造 ゴムガスケット、ゴムスリーブ、ゴムホースなど																
⑤ 事業の規模	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>2016年度</th><th>2017年度</th><th>2018年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>売上高 (百万円)</td><td>2,531</td><td>2,677</td><td>2,890</td></tr><tr><td>従業員数 (人)</td><td>187</td><td>187</td><td>189</td></tr><tr><td>延床面積 (m²)</td><td>26,824</td><td>26,824</td><td>25,325</td></tr></tbody></table>		2016年度	2017年度	2018年度	売上高 (百万円)	2,531	2,677	2,890	従業員数 (人)	187	187	189	延床面積 (m ²)	26,824	26,824	25,325
	2016年度	2017年度	2018年度														
売上高 (百万円)	2,531	2,677	2,890														
従業員数 (人)	187	187	189														
延床面積 (m ²)	26,824	26,824	25,325														
⑥ 事業年度	7月～翌年6月																
⑦ 法人設立年月日	2004年4月1日																
⑧ 資本金	90 百万円																

2. 認証・登録の範囲

① 事業所名 所在地	株式会社 テクノ月星 〒839-1498 福岡県うきは市浮羽町高見215番地
② 関連事業所	なし
③ 活動	工業用エラストマー製品の設計・開発及び製造



主要製品

●化成産品事業部

各種工業用ゴム成型品



発泡PVCクッション材



耐電ゴム手袋



マルチコート
(ガラスびんコーティング)

新開発商品

次世代のクリーンエネルギーである高圧水素に対応する
Oリングを福岡県と共同で開発しました。(特許出願中)



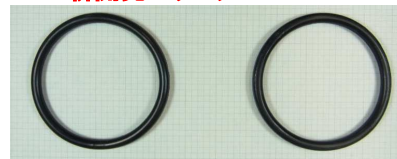
高圧水素ガスシール用Oリング

一般Oリング



曝露前 曝露後

新開発Oリング



曝露前 曝露後



●工業用品事業部

製鉄用ゴムスリーブ



各種ゴム押出成型品



各種ゴムライニング



各種工業用ゴム成型品



船舶・港湾用防舷材



各種シリコンゴム・
ウレタンゴム成型品

環境経営方針

〈環境理念〉

当社は、企業活動のあらゆる面で環境保全に配慮し、
継続的な改善を通じて、緑豊かな地域環境を
守ると共に、地球環境への負荷低減や、
持続可能な社会づくりに取り組みます。

〈行動指針〉

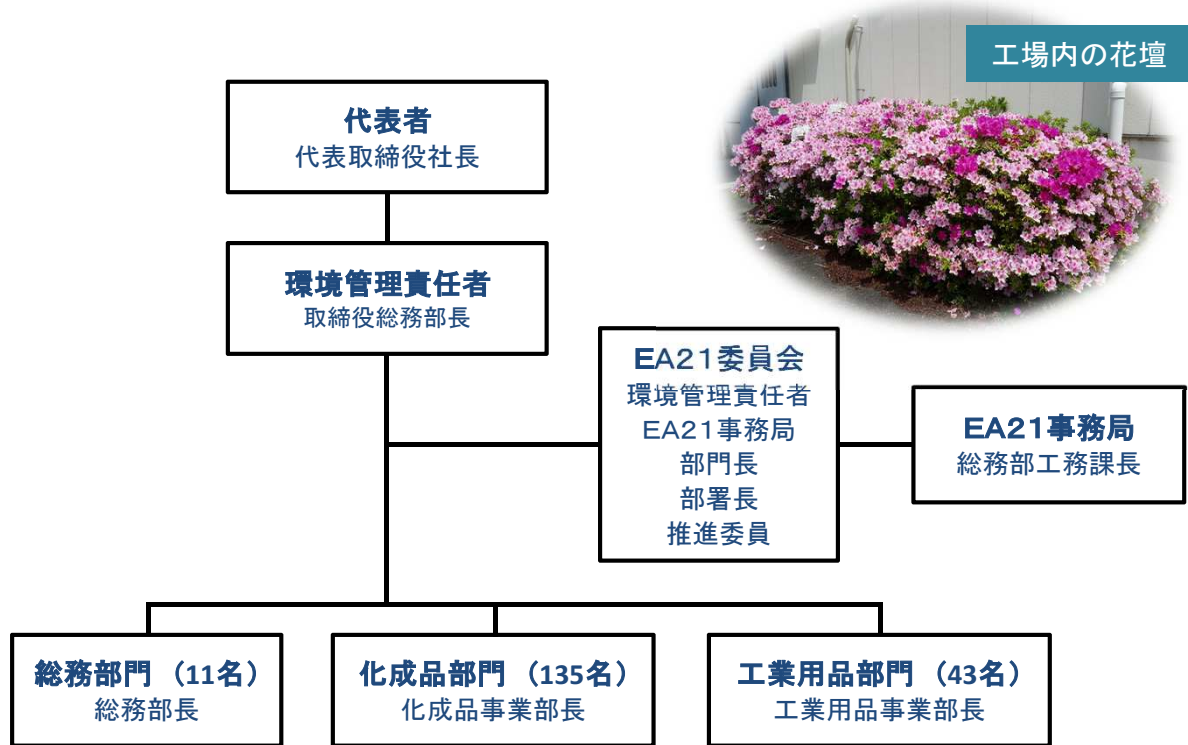
1. 節電と省エネルギー化に努め、二酸化炭素排出量を削減します
2. 廃棄物の削減及び再資源化に取り組みます
3. 節水に努め、水使用量を削減します
4. 化学物質使用量の削減と適正管理に努めます
5. 生産の効率化に取り組み、環境配慮に努めます
6. 環境関連法規及び、当社が同意するその他の要求事項を遵守します



2018年7月1日

株式会社テクノ月星
代表取締役 柿永 正利

4. 環境経営推進体制



【役割分担】

所属	役割・権限・責任
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する 環境への取組を実施する為の資源(人・物・金)を準備する EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境実績を向上させる 環境目標、環境活動計画を作成する 毎月1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する 上記の結果を代表者に報告する 内部監査を計画する
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題に関する必要事項を協議、検討、審議する (毎月の生産販売会議に引き続き開催する)
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書、記録類及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する 環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を遵守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

5. 環境経営目標

過去の取組みの成果により従来目標値と現状の実績値に乖離が見られ、2017年度から新基準値を設定した。2018年度にはボイラ燃料転換(A重油→LNG)により環境目標項目の変更、二酸化炭素排出目標の見直し(いずれも暫定目標)を行った。二酸化炭素排出量は大幅な低減を見込む目標設定とした。

環境目標 (単位)	新基準値 (2014～2016年度 実績を基に算出)	前年度 (2017年度) 目標値	当年度 (2018年度) 目標値	2019年度 目標値
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	1,381	1,368 1%削減	1,108 (暫定目標)	2018年度実績から設定予定
電力使用量の削減 (kwh/百万円)	1,093	1,082 1%削減	1,071 2%削減	1,060 3%削減
A重油使用量の削減 (ℓ/百万円)	326	322 1%削減	—	—
LNG使用量の削減 (kg/百万円)	—	—	230 (暫定目標)	2018年度実績から設定予定
ガソリン使用量の削減 (ℓ/百万円)	5.64	5.58 1%削減	5.52 2%削減	5.47 3%削減
灯油使用量の削減 (ℓ/百万円)	11.15	11.04 1%削減	10.93 2%削減	10.82 3%削減
廃棄物排出量の削減 (kg/百万円)	128	127	125	124
水使用量の削減 (m ³ /百万円)	114	113	112	111
化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理
グリーン購入/調達	—	1件増	1件増	1件増
生産効率化の取組み (化成品工場) (円/hr)	6,970	7,040	7,120	7,277

※二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.369kg-CO₂/kwh(H21年度九州電力)を使用しました。
※単位は排出量または使用量/生産金額(生産効率化の単位は生産金額/操業時間)とする。

6. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減 目標:ボイラ燃料転換で大幅減を見込む。暫定目標で対応

取組目標	活動項目
電気使用量の1%削減	・高効率機器への更新
	・照明器具LED化
LNG使用量の削減 (ボイラ燃料転換)	・ボイラ燃料転換(A重油→LNG)
	・高効率ボイラへの更新
ガソリン使用量の1%削減	・低燃費車の導入・更新
灯油使用量の1%削減	・押出作業時間/工程の検討・調整(加熱設備)
	・押出CV-2起動時間の見直し(時季対応)

(2) 産業廃棄物排出量の削減 目標:基準値比1%以上削減(単位:生産金額当たり)

取組目標	活動項目
不良損失率1%削減	・作業指導・品質教育の実施
	・プロジェクトチーム活動の活性化
廃却ゴム率の1%削減	・押出:廃却内容の分析、改善/生産工程の見直し
	・ラッピング:貼付厚み・長さ管理/ゴム横流れ改善

(3) 水使用量の削減 目標:基準値比1%以上削減(単位:生産金額当たり)

取組目標	活動項目
節水活動の推進	・防火用水吐出量調整
	・給水管の点検

(4) 化学物質の適正管理

取組目標	活動項目
使用量管理の徹底	・品種毎の使用量、在庫量の把握
	・目で見える管理の推進

(5) 生産効率化の取組み

取組目標	活動項目
生産性向上取組みの推進	・化成品:製造課・技術課が連携し、4Mカイゼンに取り組む
	・工業用品:加硫前検査の徹底、製造方法の確立、作業手順書の改善

7. 環境経営目標の実績

2018年度は、8月にボイラ燃料転換(A重油→LNG)の為、二酸化炭素排出量削減目標は暫定目標で設定した。

従来のA重油使用量の削減目標はLNG使用量の削減に変更し、2018年度は暫定目標で設定した。

環境経営目標 (単位)	当年度 (2018年度) 目標値	当年度(2018年7月～2019年6月)実績		
		実績値	達成率%	判定
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	1,108 (暫定目標)	1,113	100%	達成
電力使用量の削減 (kwh/百万円)	1,071 1%削減	1,077	99%	未達成
LNG使用量の削減 (kg/百万円)	230 (暫定目標)	222	104%	達成
ガソリン使用量の削減 (ℓ/百万円)	5.52 1%削減	4.44	124%	達成
灯油使用量の削減 (ℓ/百万円)	10.93 1%削減	9.20	119%	達成
廃棄物排出量の削減 (kg/百万円)	125	131	96%	未達成
水使用量の削減 (m ³ /百万円)	112	96	117%	達成
化学物質の適正管理	適正管理	適正管理継続	—	達成
生産効率化の取組み (化成品工場生産性) (円/hr)	7,040 1%アップ	7,024	100%	達成

※二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.369kg-CO₂/kwh(H21年度九州電力)を使用しました。

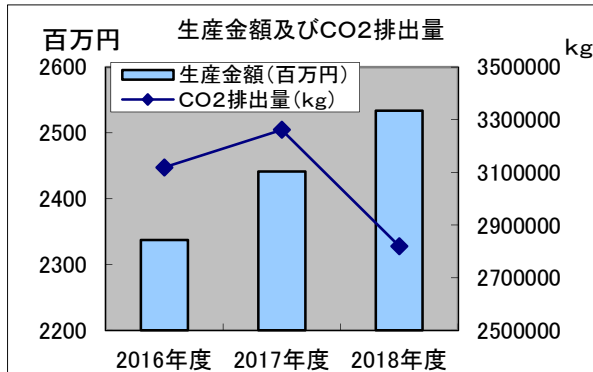
※単位は排出量または使用量/生産金額(生産効率化の単位は生産金額/操業時間)、達成率は目標値/実績値

※二酸化炭素排出量と生産性の実績判定は、目標値比でほぼ100%で達成と判断した。

過去3年間の環境負荷推移

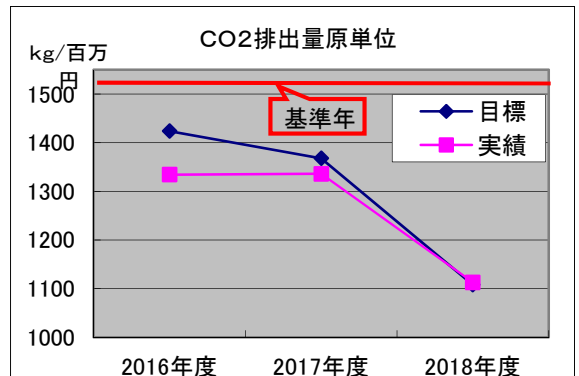
生産金額及び二酸化炭素(CO2)排出量

	2016年度	2017年度	2018年度
生産金額(百万円)	2,337	2,441	2,534
CO2排出量(kg)	3,118,847	3,262,108	2,819,745



CO2排出量原単位(kg/百万円)

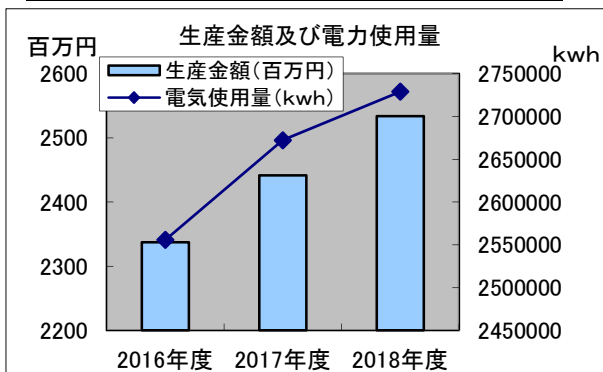
基準年目標(2010年)	年度	2016年度	2017年度	2018年度
	目標	1,424	1,368	1,108
1,515	実績	1,334	1,336	1,113



評価: 2018年度はボイラ燃料転換(A重油→LNG)によりCO2排出量は総量、原単位共に大幅な低減ができた。(原単位前年比で約17%減少) 2018年度の目標値は暫定目標で設定した。

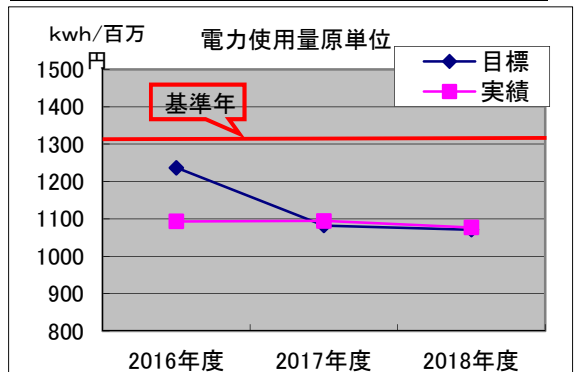
生産金額及び電力使用量

	2016年度	2017年度	2018年度
生産金額(百万円)	2,337	2,441	2,534
電気使用量(kwh)	2,555,760	2,672,184	2,728,944



電力使用量原単位(kwh/百万円)

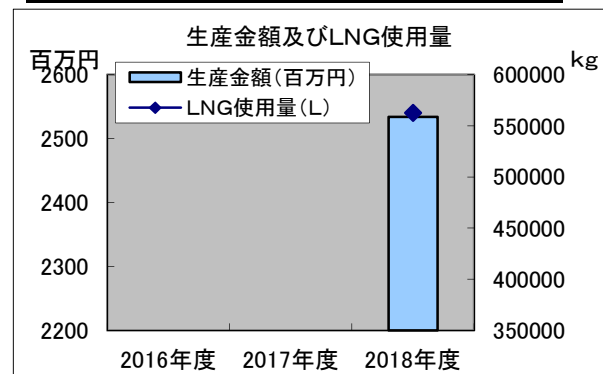
基準年目標(2010年)	年度	2016年度	2017年度	2018年度
	目標	1,237	1,082	1,071
1,316	実績	1,093	1,094	1,077



評価: 生産金額の伸びに伴い電力使用量も増えている。年度後半には電動コンプレッサ更新や照明のLED化を進めて、原単位では前年比で約1.5%低減されたが、目標には僅かに届かなかった。

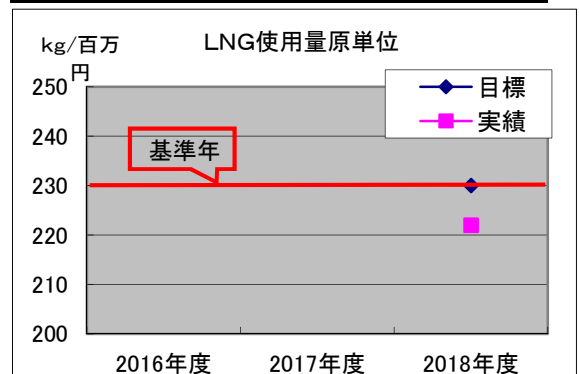
生産金額及びLNG使用量

	2016年度	2017年度	2018年度
生産金額(百万円)	—	—	2,534
LNG使用量(kg)	—	—	562,834



LNG使用量原単位(kg/百万円)

基準年目標(2018年)	年度	2016年度	2017年度	2018年度
	目標	—	—	230
230	実績	—	—	222



評価: ボイラ燃料転換(A重油→LNG)により2018年度からLNG使用量で管理する。2018年度の原単位目標は暫定目標で設定した。
燃料転換時期は2018年8月からである。6月～8月の転換前燃料使用量はLNG換算値で算出した。

8. 環境経営計画の取組結果と評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減 目標: 基準値比1%以上削減(単位: 生産金額当たり)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
電気使用量 1%削減	△	未使用エリアの消灯	○	未使用エリアの消灯は継続実施中である。設備更新時には高効率機器選定やLED照明への切替を実施した。
		省エネ機器への更新	○	
LNG使用量 1%削減	○	燃料転換工事	○	8月にボイラ燃料転換とボイラ2基を更新完了した。今後はCO2の大幅な削減が期待される。
		高効率ボイラへの更新	○	
ガソリン使用量 1%削減	○	エコ運転の実施	○	社用車のエコ運転も定着している。低燃費車への更新も実施し目標達成。
灯油使用量 1%削減	○	押出作業時間／工程の検討・調整	○	押出機予熱時間の季節毎の時間を細分化設定し実行中であり、適正な加熱時間管理により目標達成。
		押出起動時間の見直し	○	

【主な活動事例】

ボイラ燃料転換(A重油→LNG)、ボイラ更新2基
2018年 8月



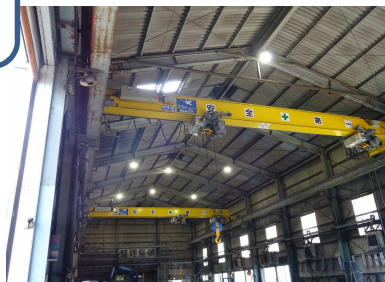
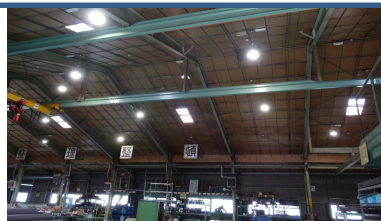
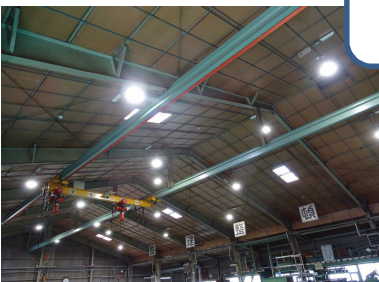
総務事務所新築(空調機・LED照明更新)
2018年11月



電動コンプレッサ更新(37KW×2基)
2019年 1月



水銀灯 → LED照明化
2019年 5月



(2) 産業廃棄物排出量の削減 目標:基準値比1%以上削減(単位:生産金額当たり)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
不良損失率 1%削減	×	作業指導・品質教育 プロジェクトチーム活動	○	主力製品である大型ガasketの新品種 量産初期不良の増加が大きく影響した。 年度後半は対策が進み、挽回したが目標 に届かなかった。(目標比79%)
廃却ゴム率 1%削減	○	押出廃却内容分析・改善 貼付厚み・長さ管理 ゴム横流れ改善	○	従来からの継続活動で目標はほぼ達成し たが、結果に行き詰まり感がある。改善策 の他品種への水平展開等により更なる削 減に期待する。

※全体の廃棄物排出量原単位は目標未達成となった。(96%)

(3) 水使用量の削減 目標:基準値比1%以上削減(単位:生産金額当たり)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
節水活動の 推進	○	防火用水吐出量調整 給水管の点検	○	防火用水吐出量調整、給水管保全等を実 施し、目標達成。

(4) 化学物質の適正管理

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
使用量管理 の徹底	○	使用量・在庫量の把握 目で見る管理の推進	○	適正に管理され活動は継続されている。

(5) 生産効率化の取組み

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
生産性向上 取組みの推 進	○	4Mカイゼンの取組み	○	前半は不良増の影響もあり苦戦したが、 主力品の製造・技術連携や部門間連携で の改善活動等により、年度後半では生産 性が向上してきており、目標を達成でき た。
		加硫前検査徹底、製法 確立、作業手順書	○	

【その他の活動】 緊急事態を想定した訓練

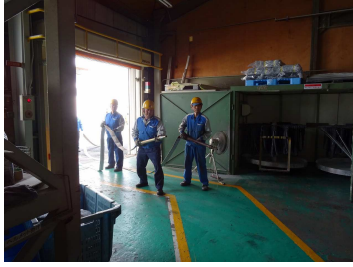
・消火避難訓練(年2回実施 1回目)

2018年11月13日



【その他の活動】 緊急事態を想定した訓練・トピックス 等
 ・消火避難訓練(年2回実施 2回目)

2019年3月4日



・屋内消火栓操法大会出場(地域防災協会主催)

2018年10月23日



・危険物施設流出防止訓練(年1回)

2018年12月25日



・LNG施設流出防災研修参加(ひびきLNG基地にて)

2018年11月8日



**平成30年度 第11回
 エコアクション21環境活動(環境経営)レポート大賞・九州
 【エネルギー部門賞】 受賞**

2018年11月14日
 NPO法人九州環境カウンセラー協会主催
 於: さざんびあ博多
 「多目的ホール」

37社の応募のなかから、当社の活動が評価され、「エネルギー部門賞」を受賞しました。
 昨年度の「環境パフォーマンス大賞・九州」受賞に続き、2年連続の受賞となりました。



受賞記念副賞は養殖サンゴの移植放流です。今回で2度目の移植で海洋保護の小さな力になれば幸いです。

9. 来年度(2019年7月～2020年6月)の環境経営の計画

環境経営目標	環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (電力使用量の削減) (LNG使用量の削減) (ガソリン使用量の削減) (灯油使用量の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ○照明機器LED化の推進 ○変圧器の高効率化推進 ○省エネパトロール ○低燃費車への更新 ○押し出し作業時間／作業工程の検討 ○押し出しCV-2起動時間等の見直し(時季対応)
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ○空ドラム缶再利用 ○作業指導・品質教育による不良低減 ○プロジェクトチーム活動の活性化による不良低減 ○押出品の廃却内容の分析・改善／生産工程の見直し ○押出材料の安定化による不良低減 ○ラッピング貼付厚・長さ管理、研磨代見直し、製法見直しとレベルアップによる廃却ゴム量削減 ○ラッピングゴム横流れ押え改善／スリーブ改善活動の推進による廃却ゴム量削減
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ○防火用水吐出量調整 ○給水系統の点検・整備
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ○品種毎の使用量・在庫量の把握 ○目で見る管理の推進
生産効率化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○製造・技術が連携し4Mカイゼンに取り組む ○ライニング加硫前検査の徹底(工程検査員養成) ○製造方法の確立、構造物作業手順書の改善

【継続活動項目】 活動が定着し、継続実施している項目

環境経営目標	活動項目
電気使用量の削減	○未使用エリアの消灯及び空調の停止
ガソリン使用量の削減	○エコ運転の実施

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りである。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、木くず、廃油)	適
騒音規制法	コンプレッサ、合成樹脂射出成型機	適
振動規制法	コンプレッサ、合成樹脂射出成型機、ゴム練りロール機	適
水質汚濁防止法	特定施設:直接加硫缶、重油貯蔵施設	適
大気汚染防止法	ボイラ	適
悪臭防止法	キシレン、MIBK	適
容器包装リサイクル法	「まな板」製品の包装資材	適
工場立地法	9,000m ² 以上の工場敷地	適
消防法	危険物施設、火災報知器、消火設備、指定可燃物貯蔵庫 熱風炉	適
化管法	第1種指定化学物質(トルエン、キシレン、チウラム、N-(ter t-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド)	適
毒物及び劇物取締法	毒物、劇物、特定毒物(トルエン、キシレン)	適
下水道法	50m ³ /日以上を排出する事業場	適
フロン排出抑制法	冷媒としてフロン使用の業務用機器	適
土壌汚染対策法	水濁法特定施設工場跡地 ※2013年6月(財)福岡県すこやか健康事業団による第1種特定有害物質11種(塩素系有機溶剤等)、第3種特定有害物質(チウラム)の土壌調査実施。工場内13地点の土壌ガス調査、表層土壌調査の結果、いずれの物質も検出なし。	適
特定工場における公害防止組織の整備に関する法	水濁法の汚水等排出施設(直接加硫缶)に対する公害防止管理者(水質)選任	適
労働安全衛生法	有機溶剤(有機則)、特定化学物質(特化則)、小型貫流ボイラ及び第1種、第2種圧力容器(ボイラ則)	適
高圧ガス保安法	LNGサテライト設備(第一種貯蔵所)	適

2019年4月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘や利害関係者からの訴訟もありません。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

○本活動への取り組みはPDCAを回しながら活動し、毎年成果を上げ目標値を見直し、より高い目標に挑戦するなど環境経営システムは有効に機能しており、適切に実施されていると判断する。

○全社の生産金額が増加している中、各種目標のほとんどが目標値をクリアしたが、電力使用量削減が達成率99%、廃棄物排出量の削減が96%で未達となった。特に廃棄物排出量に関しては、新品種量産品において製造方法の確立ができておらず、上期は不良品が増加しており、下期に改善するも影響は大きかったといえる。改善により品質向上に繋げることで、再生産によるロスをなくし 廃棄物排出量も電力も削減可能なので、引続き活動にはしっかりと取り組むこと。

○2017年版に沿った活動を開始し日が浅いので、浸透するよう環境活動に取り組んでいただきたい。

株式会社 テクノ月星
代表取締役 柿永 正利



工場内で汲みあげた地下水
近郊の名水と水質は同じです

**確かな技術で
切り拓く未来**



Techno-Tsukihoshi

〒839-1498
福岡県うきは市浮羽町高見215
株式会社テクノ月星
TEL : 0943-77-2141
FAX : 0943-77-6949